

ホリングワース (Hollingsworth, L. S.) による心理的離乳に関する記述として
妥当なのはどれか。

1. 青年期に生じる、家族の監督から離れ一人の独立した人間になろうとする試みのことである。
2. 出産直後から1週間頃までの母親に見られる一過性の気分と体調の障害のことである。
3. 2歳、3歳頃の子どもに、自我の発達により反抗的行動が出現してくることである。
4. 養育者の喪失や養育者との分離等によって、子どもが十分に特定他者との関係性を享受できなくなる状態のことである。
5. 乳幼児が乳房による満足の代わりに、ぬいぐるみなどで母親からの分離不安を防衛することである。